



伝統文化

親子体験してみよう！

てはじめ BOOK



伝統文化は身近にあった ～体験機会の回復へ～

伝統文化をインターネットで調べると「古くから日々の暮らしの中に息づき、日本的な精神が根付いた非常に奥深いもの…」とある。なにやら大それた物みたいだが、実はそうではない。

小さいころ、祖母に抱かれて庭先で郷土芸能を見たり、母は隣のおばさんから三味線を習い、父は喜多流の謡曲に熱を上げた。伝統文化は身近にあった。しかし私はその血を継がず演劇にはまり、西洋かぶれしたと親から言われた。

6年前、岩手ヤングフェスティバルというイベントを立ち上げた。民謡、箏曲、ダンスなど実績を上げた子どもたちがステージで躍動するが、なんとも白眉は土地に伝わる伝統芸能である。中学高校で課外授業で取り組んだ成果にいつも感動する。

新型コロナウイルス禍でそうした活動が制限されるのは何とも残念である。この事業が機会回復の一助になれば幸いである。

伝統文化をつなぐ岩手・盛岡実行委員会 会長 阿部正樹

伝統文化を次代につなごう！

新型コロナウイルス禍により、子どもたちの伝統文化の体験機会も少なくなっています。

伝統文化は、長年、先達が労苦を重ねて作り上げてきたものです。暮らしの潤いや子どもたちの成長過程に欠かせないものです。新型コロナウイルス禍は子どもたちにも、指導者等にも打撃を与え、ジャンルや地域によっては、伝統文化体験の機会が失われる危機に遭遇しています。

「学校」での活動も、少子化や先生方の働き方改革により限界が生じています。文化庁からは、学校の枠を超え地域や文化芸術団体が連携して、子どもたちの活動を支える「地域文化倶楽部」づくりの動きが出始めています。

当法人でも、関係団体が連携して、文化芸術活動にかかる情報の共有と発信、課題や活動の協議・連携を図る中間的な支援体制、いわゆるプラットフォームづくりを進める必要があると考えています。

伝統文化は市民生活の宝ものです。この宝を次代につなげるよう、皆さんと手を携えてまいりたいと存じます。本事業に、是非ご参加ください。

伝統文化をつなぐ岩手・盛岡実行委員会事務局 理事長 坂田裕一
特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター

もくじ

茶道	……	4
華道	……	6
書道	……	8
民謡	……	10
江戸糸あやつり人形芝居	……	12
能楽	……	14
盛岡芸妓	……	16
盛岡さんさ踊り	……	18
山車太鼓	……	20
伝統文化を体験しよう！	……	22

てはじめ

伝統文化の世界をのぞいてみよう！



おもてなしの芸術文化「茶道」

茶道とは？

「茶道」とは、お客様を思いやり、お茶をおいしく楽しんでいただけるよう、作法に基づいてお茶を点てること。今に伝わる茶道の基礎は、安土桃山時代の茶人・千利休によってつくられました。その後、いくつかの流派に分かれ、お点前の作法は少しずつ違いますが、「お客様をもてなすために、亭主（招待した側）が心を尽くす」茶道の精神は皆、同じ。茶室の空間づくり、庭、掛け軸や花、茶碗や道具選びなど、一つひとつに四季を感じる工夫を込めた茶道は、いろいろなことを学べる総合芸術として多くの人に親しまれています。

盛岡は藩政期から茶道が盛んな街

安土桃山時代に、能楽とともに盛岡に伝わった茶道は、江戸時代には、城下の武家の教養として広められ、明治時代以後も受け継がれ盛んとなってきました。南部藩のお殿さまは代々茶道をたしなみ、京都から茶釜職人を呼んで独自の茶釜づくりに力を入れたそう。それが南部鉄器の発展にもつながっています。

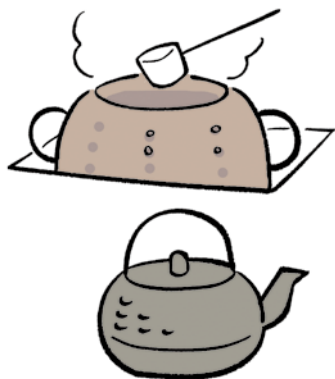


千利休

ポイントはココ！

「初めて参加」を伝えよう！

茶道に興味はあっても敷居が高そうと感じる人も多いはず。何を用意すればいいのか不安もありますね。まずは、清潔感ある服装を心がけ、和室に上がるので白い靴下や白足袋を用意しましょう。最初に「初めて参加する」ことを伝えれば、作法やマナーを親切に教えてくださいますよ。



教えてくださった先生／赤沢宗千さん・高橋宗翠さん

表千家不審庵地方教授、一般社団法人表千家同門会岩手県支部元幹事。
二人ともお稽古をはじめて52年の大ベテラン。

茶道をはじめたきっかけは？

二人とも高校生のころ、自分の興味やまわりの人にもすすめられたのがきっかけでしたが、「和菓子がおいしい!」「おけいこがおもしろい!」ですぐにハマってしまいました。

茶道で大事なことは？

茶道は芸術文化として奥深いのですが、衣食住すべてに関わるのが茶道なので、日常をととても大切にします。一生懸命勉強してもこれで十分ということがありません。

茶道を学んで良かったことは？

茶道に関わる「場所」や「もの」との出会い、「人」とのつながりに感動したり楽しみのなったりして、ここまで続けてきました。いつまでも好奇心を持てて楽しむことができる伝統文化だと思います。茶道に出会えて本当に良かったです。

■ 続けて習うには…

高校生なら多くは茶道部がありますが、地域の公民館等、身近な場所で初心者向けの体験会も行われています。機会があれば、家族で気軽に参加してみてください。

美しい所作が身につきます

茶道は、お茶の点て方、いただき方、すわり方、お辞儀のしかた、立ち方、歩き方などの動作にいろいろな約束事があります。これを作法といい、常に「お客様を思いやり、お茶をおいしく味わっていただく」ための工夫。慣れてくるとふだんの生活での所作も自然に身につきます。「体験フェス」や「親子教室」では、抹茶をいただいたり、自分でお茶を点てたりすることができますよ。



※参考資料

- ◆「日本文化の基礎がわかる 茶道・華道・書道の絵事典」(PHP研究所編)
- ◆「用と美の世界 いわての手仕事」(発行) 岩手県文化財愛護協会 (熊谷印刷出版部)
- ◆表千家不審庵ホームページ「茶の湯のころと美」

花の美しさを表現する「華道」

華道とは？

華道は、さまざまな花や草木を切り取って花器に挿し、形をととのえて鑑賞する芸術。「いけばな」とも呼ばれ、今や世界各地に広まっています。その起源は、仏前に花を供えたのがはじまりといい、室町時代に器を使いたいけばなのスタイルが出来上がりました。それ以降、伝統的様式を大切にしながら、時代や流行を取り入れた現代アートとしても進化。日本独自の四季、自然の美しさや力強さを作品の中に表すことができる日本の伝統文化として受け継がれています。

ポイントはココ！



季節ごとにどんな花が咲くのかな？
まずは観察してみよう！

まずは花を楽しむ

華道やいけばなと聞くと、敷居が高いイメージもありますが、まずは花のある暮らしを楽しむことが第一。玄関やキッチンに飾ったり、記念日やお祝いに花を飾ったり。気軽に花のある生活を楽しむことから始めましょう。

花を観察すると、新しい発見が！

道沿いの花壇、庭先、お店の入り口など、ふだんからあちこちで花や樹木をみているはずですが、じっくり観察する機会は案外少ないのでは。花も草木も、それぞれ1本ずつ表情が違います。植物をみて観察することで見つかる新しい発見を表現することが華道への一歩。手法は自由に広がります。



教えてくださった先生 大村眞鏡さん

龍生派 家元一級教授、龍生派盛岡支部支部長、岩手華道協会役員、(公益社団法人) 日本いけばな芸術協会正会員。大村眞鏡 龍生派いけばな教室 盛岡市中央通り 2-10-5 <https://www.facebook.com/ohmura.mami>

いけばなをはじめたきっかけはなんですか？

叔母が華道教授でしたので、いけばなをいつも目にする環境で、幼稚園に入園するころから自然とはじめました。いけた花をほめられるのが嬉しかったです。

いけばなを習うのに道具は必要ですか？

まずはハサミと器(花器)、剣山があればおけいこがはじめられます。

いけばなを学んで良かったことは？

自然に生えている花もきれいですが、部屋の中に切り花を飾る楽しさを知りました。花の取り合わせや、いけ方を

考えるのが面白いのです。特に龍生派は古典と現代の創作的な花を両方学べるので、奥深く飽きることがありません。そして何よりも人との出会いに感謝しています。いけばなを習っていたからこそ出会えた方々に、学ぶことが多かったと思います。

■ 華道を観る＆習うには…

岩手華道協会には 10流派が加盟しています。華道展でそれぞれの特徴を観てください。【第74回岩手芸術祭華道展】R3年 10/8(金) - 11(月) 岩手県民会館 第1・第2展示室

- ・岩手華道協会 中村素瑠
tel.019-622-0449
- ・龍生派 大村眞鏡
tel.080-5551-5734



「体験フェス」では、伝統的な華道の道具「剣山」を使いたいけばなと、自由な発想のいけばなを体験してみます。きれいに见せる手法がわかると花をいけることがぐんと楽しくなりますよ。

※参考資料

- ◆日本いけばな芸術協会ホームページ
 - ◆いけばな龍生派ホームページ
- 画像提供: 大村眞鏡

筆1本で表現するアート「書道」

書道とは？

「書道」は、はるか昔に中国で発達し飛鳥時代から奈良時代に日本に伝わりました。その際に墨、筆、紙のつくり方もいっしょに伝わったといえます。文字の線一つひとつを集中して描くことで心を整え、自分自身をふりかえることができます。文字をキレイに書くことだけにとらわれず、筆の流れ、線の力を自由に楽しむことが、書道の第一歩です。



ポイントココ！

表現の方法は自由

書道の文字には「楷書」や「行書」など、これまで古くから使われてきた基本的な書体がありますが、自分好みの書体で自由に書いたり、好きな言葉を組み合わせたり、書く紙の大きさや形もいろいろ工夫できます。一人で書くだけでなく、みんなで一つの紙に協力して書くこともできます。最近は文化祭などのイベントで書道パフォーマンスが活躍する学校もありますね。書道は、文字に心を映しだすアート。自由に楽しんでください。



教えてくださった先生／芳賀鳳泉さん

書道研究平心会理事。盛岡大学 非常勤講師。

書道をするとき、どんな道具を使うのですか？

墨にも種類があって、墨汁、固形の墨があります。固形の墨を磨るとき、水の量を変えて濃くしたり薄くしたりすることができ、濃淡の変化の他に墨色も楽しめます。筆は、羊、イタチ、馬などいろいろな動物の毛を使っています。毛の硬さや長さにも違いがありますので、筆の種類によって、書き味も変わってきますね。用具・用材を工夫することで変化が生まれますので、いろいろと挑戦してみましょう。

書道に取り組むとき、心がけていることは？

学校で習う「書写」は、字をきれいに正しく書くことですが、「書道」は自己表現することを目的とする芸術のこと

です。自己表現という構えがちですが、私自身は気負うことなく平常心で取り組むように心がけています。

書道を身につけて良かったことは？

集中力がつきます。無心に文字を書くことで、気持ちが穏やかになり、落ち着くことができます。

■ 書道を観る＆習うには…
岩手県は昔から書道が盛んな土地。各地でさまざまな展示会やコンクールが開かれていますので、気軽に足を運んでみるのも、書に触れるきっかけになります。学校の授業や手持ちのお手本で気持ち新たに組み込むのもいいですが、専門雑誌の課題に定期的に出品することも、とても勉強になります。興味を持ったときに「はじめどき」です。

まずは、「筆」に親しむ体験を！

直接文字を書く機会はだんだん減り、パソコンやスマートフォンの文字入力で言葉を伝える方が多くなっているのでは？ 墨をふくませた「筆を使う感覚」そのものが新鮮な体験になります。ハガキや手紙のあて名、書類の記名など、気負わずに筆を使って書く体験を増やしてみましょう。「体験フェス」では、うちに好きな書体で自由に、好きな言葉を筆で書く体験会を行います。ぜひ、気軽に参加してくださいね。



古くから唄い継がれる「民謡」

民謡とは？

ポイントはココ！

「民謡」は、日本各地で古くから、生活の中で人々に歌い継がれてきた唄のことです。メロディー(旋律)は日本音階(五音音階)で、明るい感じがする陽音階(外山節・南部木挽唄など)と、もの悲しい感じの陰音階(南部牛追唄など)があります。リズムは、仕事をしながら歌ったり、踊りにつけて歌ったり、手拍子にも合う二拍子の民謡が多くあります。

また、生まれた背景(場面)によって、「労働の唄」「祝い唄」「踊り唄」などに分類されます。背景を知ると当時の人々の生活を想像することができ、歌うときも鑑賞するときも楽しいものです。

岩手の民謡にはどんなものがある？

代表的な民謡は、「外山節」。盛岡市玉山にあった県営外山牧場が、明治24(1891)年に「宮内省御料(馬)牧場」となったころ、草刈り作業をするときに生まれた唄です。それ以外にも、お祝いや宴会の場で歌われる「南部よしゃれ」、年貢米の代わりに差し出された娘・およねの悲しみを歌った盆踊り唄「沢内甚句」、荷物を積んだ牛を追う牛方たちに歌われた「南部牛追唄」、山仕事の唄「南部木挽唄」、盛岡藩の金山で生まれた「からめ節」などがよく知られています。



先生に質問！
教えてくださった先生／藤沢清美さん

岩手県民謡協会会長。小学生の頃から民謡や民俗芸能が好きで、二十歳で尺八と横笛を始めました。尺八は始めて間もなく藤原正水師に、その後秋田の藤丸東風師に師事。(公財)日本民謡協会認定師範教授。

盛岡ならではの民謡は何ですか？

「外山節」です。令和3(2021)年3月29日に盛岡市指定無形民俗文化財に指定されました。

「外山節」の特徴を教えてください。

草刈り作業時にうたわれた仕事唄。当時の山村農民の心情や生活がにじみ出た、素朴でさらりとしたリズムの唄です。

「外山節」を歌うときにはどんなところに気をつけていますか？

歌詞の意味を理解して、働く人々の情緒(ほのぼのとした味わい)を表現

するためにも、力の入れ所に気をつけ、おおらかな気持ちでのびのびと歌いたいものです。

■ 続けて習うには…

「楽しい民謡教室」

講師／愛子おばちゃん・三上紀子・山上衛
tel.090-8423-2255

会場／「オフィスのん」

盛岡市上厨川字横長根 82-1

月曜日 18:00 - / 小学生

火曜日 19:00 - / 高齢者

水曜日 19:00 - / 年齢オープン

土曜日 13:00 - /

「三上紀子三味線教室」年齢オープン

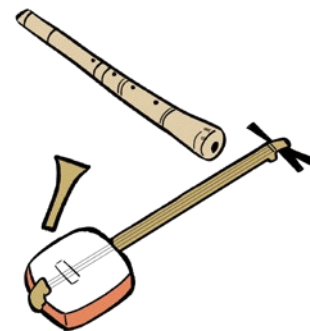
「三上紀子 民謡教室」講師／三上紀子
tel.090-3362-4506

会場／「老人憩いの家」盛岡市山岸

木曜日 18:00 - / 年齢オープン

唄、三味線、尺八を体験してみよう！

「体験フェス」では最初に、岩手県内の民謡歌手・伴奏者による民謡を鑑賞します。歌手の皆さんは各種全国大会で受賞経験を持つ人ばかり。そののびやかな声や、節回し(声の上げ下げや強弱)などの技に優れた唄を、間近で聴くことができます。鑑賞後は、唄、三味線、尺八を体験します。三味線と尺八はともに民謡に欠かせない楽器で、持ち方からはじまり、手や口の使い方、音の出し方などを学びます。



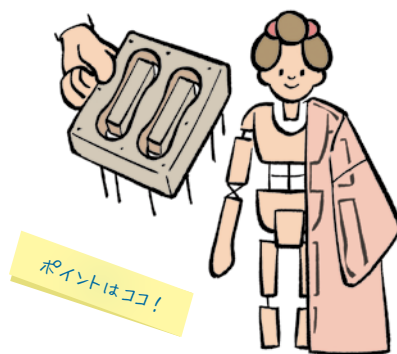
※参考資料

- ◆ホームページ「いわての文化情報大事典」
 - ◆盛岡市公式ホームページ
 - ◆サイト「日本民謡の世界」
 - ◆「新岩手の民謡」(発行/岩手県民謡協会)
- 画像提供: 岩手県民謡協会

盛岡とゆかりの深い「江戸系あやつり人形芝居」

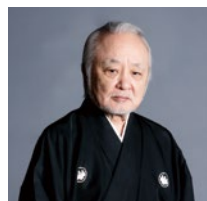
「江戸系あやつり人形」とは？

糸と「手板」という操作板であやつられる、江戸時代に生まれたあやつり人形です。四角い板に2本の可動式の棒が組み込まれた手板には、基本の糸が17本付いていて、手板でそれらの糸をあやつることで人形の顔や胴、手足を自由に動かすことができます。これにより、細かい動きや豊かな表情、「間」による感情などを表現することができるのです。



人形劇団「結城座」について

江戸系あやつり人形は、寛永12(1635)年に結城孫三郎が劇団「結城座」をつくって公演したことから、庶民の人気を集めるようになりました。結城座は現在までその伝統を守り続けており、「国記録選択無形民俗文化財」「東京都無形文化財」に指定されています。また、第二次世界大戦中には人形を持って盛岡に逃げ、空襲から人形を守ったことから、盛岡と関わりがある人形劇団でもあります。今は伝統的な古典のほかに、役者と人形が同じ舞台上で演じたり、江戸時代の伝統芸能「江戸写し絵」(写し絵師が、特殊な幻灯機でガラス絵をスクリーンや障子に映し出すもの)を取り入れたり、独自の新作も上演しています。そのなかには宮澤賢治の「注文の多い料理店」もあります。



三代目 両川船遊
(十二代目 結城孫三郎)



先生に質問！

教えてくださった先生／十三代目 結城孫三郎さん

1978年に十二代目結城孫三郎の長男として生まれ、6歳で初舞台。「人形遣い」として、また、結城座が伝える「江戸写し絵」の「写し絵師」として活躍。2021年、十三代目結城孫三郎を襲名。

どんな物語の人形芝居(人形劇)を行っているのですか？

結城座は、古典も新作も幅広く上演しています。古典では、歌舞伎や文楽の演目として有名な「伽羅先代萩」、弥次さん喜多さんでおなじみの「東海道中膝栗毛」など。新作では、シェイクスピアなどの海外作品や、「はりねずみのハンス」「注文の多い料理店」など子どもが楽しめる作品も上演しています。

他のあやつり人形とはどんな点が違うのですか？

「手板」と呼ばれる操作板は日本特有のもので、外国のあやつり人形にはありません。多い時にはこの手板に40本以上の糸を付けることもあります。また、人形遣いがセリフを言いながらあやつるのは、明治時代に九代目結城孫三郎が「歌舞伎改良系あやつり」として編み出した表現法です。



撮影／石橋俊治

人形をあやつるときはどんなことに気をつけていますか？

基本として、手板を平らに持ち、人形の重みを感じながらまっすぐ立たせるよう気をつけています。プロの人形遣いは、手板の繊細な動かし方や傾け方、糸を同時に何本も使うことによる豊かな表現力で、人形をあやつります。



撮影／石橋俊治

■ 続けて習うには…

いわてアートサポートセンターでは、体験フェス後、4～5回の入門編のワークショップを開催します。また、結城座の協力を得て、将来、糸あやつり人形子ども劇団の育成も検討しています。問い合わせ Email: kodomobunka@iwate-arts.jp

能楽とは？

「能楽」は「能」と「狂言」を合わせた伝統芸能で、ユネスコの世界文化遺産に認定されています。能は、主に歴史上の神話を、面(仮面)を着けて演じる歌舞劇(歌と踊りの劇)で、狂言は、日常の笑いを誘うような出来事を題材にした短い劇になります。能楽ではこの2つを同じ舞台上で交互に、それぞれ独立した形で演じます。能楽を演じる「能楽師」は4つの役割を分担しています。能の主役「シテ」や地謡(バックコーラス)などをつとめる「シテ方」、シテの相手役「ワキ」などをつとめる「ワキ方」、楽器を演奏する「囃子方」、狂言の主役や、能のナレーション役など「アイ」を担当する「狂言方」です。また能では、シテは面を着け、ワキは着けないという決まりがあります。

ポイントはこちら！

あらすじを調べておこう！

能も狂言もそれぞれ200数十の演目があり、内容はさまざま。謡(歌)がセリフになっており、意味を理解するのが難しいので、鑑賞前にあらすじや解説本などを読んでおくのがおすすめです。また能については、音楽に合わせた舞(踊り)や美しい面、豪華な装束(衣装)も見どころ。衣装では、色・柄・着方で役が表現されているので、物語を理解する時のヒントにもなります。



どんなお話なんだろう？
観賞前に調べておくと
理解が深まります。



先生に質問！
教えてくださった先生

こんのよしまさ
金野泰大さん

シテ方宝生流能楽師。1983年生まれ、盛岡市出身。2001年に宝生流入門し、十九代宗家宝生英照に師事。2003年初舞台、2012年「吉野静」で初シテ。同門会として「泰雲会」を主宰。

どうして能楽師になろうと思ったのですか？

小学校2年のときに習いはじめたところ、周囲には同じぐらいの歳でやっている人がおらず、このままでは継承者不足になるのでは、と感じました。そして、もっと能楽の世界を見てみたい、文化の担い手になってみたいと思い、能楽師になることを決めました。

どんな点が面白いですか？

「この曲はどんな物語なんだろう」とか南部藩の能楽について調べたときに、いろいろ知ることができる点がおも

しいです。また、舞台が無事に終わったときは達成感があります。

どんな点が難しいですか？

舞台のセリフを一字一句間違えずに覚えることと、女性や鬼などを謡や型で表現することが難しいです。

■ 続けて習うには…

NPO法人能楽を活かす会では、盛岡を中心に稽古や能楽イベントを行っていますので、お問い合わせください。
NPO法人能楽を活かす会
tel.019-667-1711
noh.hiromeyou@gmail.com

宝生流の美しい舞台をじっくりと

「体験フェス」「親子教室」では能楽を鑑賞したあと、珍しい日本刀体験や能装束体験ができます。講師の金野泰大さんは、盛岡市出身のシテ方宝生流能楽師。宝生流はシテ方の5つの流派のうちのひとつで、重みのある落ち着いた動きと、上品で美しい謡が特徴です。ちなみに、ワキ方、囃子方、狂言方にもそれぞれ流派があります。



※参考資料

◆独立行政法人日本芸術文化振興会サイト「能楽への誘い」

◆公益社団法人宝生会公式ウェブサイト

画像提供：NPO法人能楽を活かす会

盛岡で邦舞を伝える「盛岡芸妓」

盛岡芸妓とは？

「芸妓」は、日本舞踊や三味線など幅広い伝統芸能を身につけた、おもてなしのプロ。茶道や華道、日本画などの伝統文化がたくさんある「料亭」という場所が芸妓の活躍の舞台となり、会食の席などで、お客様に芸を披露します。盛岡では藩政時代から芸妓が活躍し、大正半ばころから昭和はじめころは200人近い芸妓が、市内あちこちで活躍していたようです。明治時代、全国に名高い指導者から直接教えを受けたことで、レベルは一層向上。明治41年の東北6県連合共進会演芸の部で見事優勝し、東北一を誇る芸の高さで知られるようになりました。現在もベテランから若手まで7人の芸妓が活躍しています。



流れるような美しさと踊り

邦舞(日本舞踊)のおもしろさは、物語の役になりきって踊ること。頭の天辺からつま先までいねいに表現することを大事にし、品格がありながら繊細でやわらかな動きの美しさがあります。また、ふだんあまり聴くことが少ない三味線の音色にも耳を傾けてみてください。

岩手の文化と関わり深い演目

披露する芸は長いものから短いものまで季節ごとに沢山ありますが、「南部音頭」「産馬かっぽれ」「チャグチャグ馬コ」など、盛岡芸妓にのみ踊りが伝わる演目が多いのも特徴です。



ポイントはココ！



先生に質問！

教えてくださった先生／よう子姐さん

明治期に名古屋から移り住み、盛岡芸妓に踊りを教えるようになったのが、初代若柳力代。よう子姐さんはその四代目を継ぎ、芸妓として活動するとともに、県内各地で日本舞踊の指導にあたっています。

どうして、盛岡芸妓になったのですか？

私の叔母が盛岡の花街の踊りの先生(2代目の力代)で、3才ごろからずっとおけいこしていました。近所の幼なじみも皆芸者さんの子どもばかりの環境でした。中学生のときに住み込みの芸養子となってから、叔母のもとにおけいこや遊びに来る姐さん方の華やかな雰囲気にも憧れをもちました。なんとか頼み込んで修業を重ね、17才の冬にお披露目いたしました。

芸事の他に身につくものは？

何事も自分から学び取ろうとする強い意志でしょう。それと、学んでいくほど

に上には上がいると知る謙虚さ、も身につくと思います。

芸妓さんに必要な条件は何ですか？

上と重なりますが、人の教えを素直に聞く耳を持つこと、自ら学ぶ意志を持つことです。歳を重ねてみると人から受けた優しさや教わったことを自分の糧にし、今度は別の人にお渡しするの芸妓の素養ではないかと思います。

■盛岡芸妓の演舞を観るには？
盛岡芸妓後援会では、年に何度か「盛岡芸妓お座敷体験講座」を開催しています。
問い合わせ／tel.019-624-5880
(盛岡商工会議所内 盛岡芸妓後援会)

「金山踊り・からめ節」を一緒に体験してみよう

盛岡芸妓が勢揃いするときに必ず踊る「金山踊り・からめ節」は、金や鉄などの鉱山が栄えることを願って歌われたものがルーツです。「ドッコイドッコイドッコイナ」の掛けごえがりズミカルで、にぎやかな場にぴったり。盛岡芸妓を代表する演目です。



※参考資料

◆「もりおか物語(貳) 一八幡町かいわい」(熊谷印刷出版部)

◆「盛岡劇場ものがたり」(岩手日報社)

画像提供: 盛岡芸妓後援会

地域の伝統芸能「盛岡さんさ踊り」

盛岡さんさ踊りとは？

「さんさ踊り」は盛岡に伝わる盆踊りとして古くから親しまれ、お盆を中心にあちこちの集落で踊り継がれてきました。「南部手踊り」といわれる独特な手振りが特徴で、江戸時代に形づくられたと伝わります。踊りの起源は「三ツ石神社伝説」。昔、この一帯で悪さをした羅刹という鬼を三ツ石神社の神さまが退治し、それを喜んだ人々が何日も踊り続けたのがはじまりという説です。現在は盛岡市指定無形民俗文化財に指定を受け、各地の踊りを受け継ぐ団体が伝統さんさの保存活動をしています。



ポイントはココ！

見どころいっぱいの踊り

「さんさ」の語源は三十三通りの踊り方があることに由来するとも言われ、各地区に伝わる踊りはどれ一つ同じものはありません。振り付け、太鼓のたたき方、テンポ、衣装にも個性があります。毎年8月には「伝統さんさ踊り競演会」も開かれ、さまざまな団体の踊りを見ることができますよ。ぜひ、違いを見比べてみてください。



先生に質問！
教えてくださった先生

たまかけのりこ 玉掛典子さん

盛岡観光コンベンション協会企画総務グループ副室長。さんさも山車も大好きな盛岡っ子。プラザおでって開館以来、盛岡の楽しさをお伝えしているプロフェッショナルです

盛岡さんさ踊りの魅力は どんなところ？

一言で「躍動感」。見ている人の身体まで響く太鼓の生の音、踊りながら太鼓をたたいたり笛を吹くはなれワザもすごいです。弱拍から入る太鼓のリズムは独特ですし、一見おどけてみえる「一八」も実は最高に上手な踊り手。歌詞も面白いので注目してほしい！

踊るときに、 気をつける点は？

ひざを使う（屈伸）、自分の手の指先を見ながら踊る、太鼓の場合はバチの先を見るように踊ると、すごく「それらしく見える」と思います。そして、何よりも笑顔で踊りましょう！

どんなところを 見てほしいですか？

パレード用に統一の振り付けで踊る演目でも、出演団体によってオリジナリティを盛り込んでいます。それぞれの地域に伝わる伝統さんさは、一つとして同じ踊りがないので、装束、花笠の違いや、男衆の勇ましい踊りも見てくださいね。

■ 盛岡さんさ踊りをはじめるには？
皆さんが住んでいる地域や学校でも、さんさ踊りの練習をしているかも！活動団体の情報など、気軽にお問い合わせください。
盛岡観光コンベンション協会
tel.019-621-8800
webサイト hellomorioka.jp/



まずは、踊る楽しさを感じよう

毎年8月1日から4日まで開催される「盛岡さんさ踊り」は、今や東北を代表する夏まつりです。こちらは、誰もが参加できるよう、パレード用に統一した振り付けを取り入れ、企業や学校など多くの団体が参加しています。詳しくはホームページなどをご覧ください。

盛岡さんさ踊り実行委員会公式ホームページ
www.sansaodori.jp/

盛岡秋まつり「山車太鼓」

秋まつりに奉納される「盛岡山車」

盛岡市の無形民俗文化財に指定されている盛岡八幡宮例大祭の山車行事は、1709(宝永6)年9月14日、南部藩の御城下全町の若者らが趣向をこらした丁印(町の紋章・エンブレムで、各町の消防、自治的組織の標識)を先頭に3日間、目抜き通りを練り歩いたのがはじまりと伝えられています。山車は「京都祇園祭」「江戸三社祭」の出し物の良いところを取り入れた豪華なもので、各地域の消防団など出演団体が八車を人形や造花などでかざりました。多くは、歴史や歌舞伎の名場面をテーマにつくられています。

盛岡山車に 欠かせない山車太鼓

盛岡山車が練り歩くときには、「露払い」「手古舞」「笛」などさまざまな役割の人たちが行列を組みます。山車の上で子どもたちが打つ「小太鼓」と、大人が打つ「大太鼓」も、山車行列のメンバーです。小太鼓の子どもたちは、5～6人が1組になって交替しながら太鼓を打つので、同じ組の人たちと音が揃うよう練習が欠かせません。また、山車の上では音が聞き取りにくいことから、「大太鼓」の大人も「小太鼓」と音を合わせるための技と経験が必要。祭りの勇ましい太鼓の音は、こうしてつくられるわけですね。

ポイントはココ!



先生に質問!

教えてくださった先生／川島 圭さん

小さい頃から「盛岡山車」が好きで、30年ほど前から盛岡秋まつりに参加。大太鼓で参加するほか、番付絵や山車も製作しています。

山車をつくるのに、 何日くらいかかるのですか?

私を含め山車をつくっている人たちはふだん仕事をしているので、作業するのは、仕事か休みの日や仕事が終わってから。そのため、早い年には1月から少しずつ製作を始めますが、完成するのは本番直前になることも。

山車のテーマは、どうやって 決めているのですか?

それぞれの団体の代表の皆さんが、テーマが重ならないよう話し合っ決めていきます。団体ごとに得意な演題(テーマ)があるのでその中から選んだり、その年に話題となっている人物や事柄をテーマにすることもあります。

小太鼓を打ちたいのですが、 どうしたら良いですか?

8月になると出演団体ごとに参加者を募集します。地域の回覧板や、盛岡観光コンベンション協会のホームページなどで確認し、参加団体を決めましょう。どの団体に参加しても、本番までの2～3週間は練習が必要です。

■ 太鼓を叩いてみたい人は…

出演団体の一つである盛岡観光コンベンション協会にお問い合わせください。

盛岡観光コンベンション協会
tel.019-621-8800

「親子教室」で気軽に体験

実際の祭りで太鼓を打つためには、出演団体に入って何日も練習しないといけないのですが、「親子教室」では気軽に太鼓打ちを体験することができます。太鼓は他の楽器に比べて初心者でも演奏しやすいので、コツをつかめば良い音を出すことができます。教室ではそのコツを教えてもらえます。



※参考資料◆盛岡観光コンベンション協会ホームページ
画像提供: 盛岡観光コンベンション協会内「山車運行委員会」

伝統文化を体験しよう!

「伝統文化 1日体験フェス ― 伝統文化ではじめフェス」スケジュール

日 程／令和3年7月17日(土)～7月25日(日) 会 場／もりおか町家物語館

- ・民謡体験 7月17日(土) 13:30～ 浜藤ホール
- ・茶道体験 7月18日(日) 10:00～／13:00～ 母屋2階和室
- ・華道体験 7月18日(日) 10:30～／13:30～ 浜藤ホール
- ・書道体験 7月18日(日) 11:00～／14:00～ コミュニティスペース DOMA
- ・江戸糸あやつり人形芝居体験 7月22日(祝) 13:30～ 浜藤ホール
- ・盛岡芸妓体験 7月24日(土) 13:00～／14:30～ 母屋2階和室
- ・能楽体験 7月25日(日) 13:30～／15:00～ 浜藤ホール

さんさ踊り親子体験

日 程／令和3年8月28日(土)
会 場／プラザおでって
受 付／12:30より
開 催／13:00～16:00(終了予定)
内 容／おでってホール他でさんさ踊りを体験した後、おでって広場にて
みんなで輪踊りをします(天候次第)

伝統文化教室派遣(盛岡広域)

日 程／令和3年8月～令和4年1月31日(予定)
場 所／盛岡近隣市町にて
内 容／伝統文化ジャンルを体験する機会の少ない地域へ体験教室を派遣します。
ジャンルは茶道、華道、民謡、能楽、邦舞(盛岡芸妓) など

伝統文化教員体験

日 程／令和4年1月(予定)
会 場／もりおか町家物語館
内 容／冬休みなどを活用して、教員が伝統文化の基礎を学びます。
ジャンルは茶道、華道、民謡、能楽、邦舞(盛岡芸妓)、
江戸糸あやつり人形芝居 など

伝統文化親子教室もりおか

日 程／令和3年8月～令和4年1月
会 場／もりおか町家物語館、プラザおでって、盛岡市中央公民館など
内 容／茶道・民謡(外山節など)・江戸糸あやつり人形芝居・能楽・
邦舞(子ども芸妓を体験して、「金山踊り」「盛岡音頭」と「お座敷遊び」を習う)・
山車太鼓などの7つの分野

- * 4回～6回程度の教室を行います。
- * 教室受講終了後には発表会も行います。

お 問 合 せ

● 茶道・華道・書道

もりおか町家物語館 tel.019-654-2911(第4火曜除く 9:00～18:30)
kodomobunka@iwate-arts.jp

● 民謡・江戸糸あやつり人形芝居・能楽・邦舞(盛岡芸妓)

いわてアートサポートセンター内 伝統文化係 tel.019-656-8145(平日 10:00～18:00)
kodomobunka@iwate-arts.jp

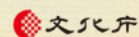
● 盛岡さんさ踊り・山車太鼓

盛岡観光コンベンション協会 tel.019-621-8800
(第2火曜除く平日 8:30～12:00／13:00～17:15)
soumu@odette.or.jp

主 催／文化庁、伝統文化をつなぐ岩手・盛岡実行委員会、
特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター(運営事務局)

共 催／盛岡市、盛岡市教育委員会、(公財)盛岡観光コンベンション協会

後 援／盛岡広域振興局、盛岡芸術協会、公益財団法人江戸糸あやつり人形結城座、
岩手県民謡協会、NPO法人能楽を活かす会
岩手日報社、朝日新聞盛岡総局、読売新聞盛岡支局、毎日新聞盛岡支局、
産経新聞盛岡支局、盛岡タイムス社、NHK盛岡放送局、IBC岩手放送、
テレビ岩手、めんこいテレビ、岩手朝日テレビ、エフエム岩手 ほか



子供たちのための伝統文化の体験機会回復事業・伝統文化1日体験フェス



子供たちのための
伝統文化の体験機会回復事業
伝統文化1日体験フェス

